

第52回 日本伝統工芸富山展

平成25年 5月17日(金)～6月2日(日) 月曜日休館

午前9時30分～午後5時(入場は4時30分まで) 5月17日(金)は午前10時30分から



第51回日本伝統工芸富山展 日本工芸会賞
乾漆合子 樋川都市 作

主催 (公財)高岡市民文化振興事業団 高岡市美術館 / (公社)日本工芸会富山支部 / (公社)日本工芸会 / 北日本新聞社

後援 文化庁 / 富山県 / 富山県教育委員会 / 高岡市 / 高岡市教育委員会 /
NHK 富山放送局 / 北日本放送 / 富山テレビ放送 / チューリップテレビ /
富山エフエム放送 / とやまソフトセンター

観覧料 一般800円(640円) / シニア640円 / 大学生500円(400円) / 高・中・小生 無料

○()内 団体料金 20名以上

○2階コレクション展(ピコーレギャラリー)も併せて観覧できます。(高校生のみ別途観覧料150円)

○身体障害者・精神障害者保健福祉・療育の各手帳所持者及び付添いの方(1名)は半額です。手帳をお持ち下さい。



高岡市美術館

〒933-0056 富山県高岡市中川1-1-30 TEL 0766-20-1177

URL <http://www.e-tam.info/>

趣 旨

昭和36年に第1回展が開催された日本伝統工芸富山支部展(第4回以降日本伝統工芸富山展)は5周年の5回展から県内出身者を対象とする公募制を取り入れ、今年で52回を数えます。

伝統工芸は単に古いものを模倣し、従来の技法を墨守することではありません。受け継いだ優れた技術を一層練磨すると共に、今日の生活に即した新しいものを築き上げることが、我々に課せられた責務であると信じます。

今回は、金工・漆芸・木竹工・陶芸・染織・人形・諸工芸の7部門の公募入選・受賞作品と重要無形文化財保持者(人間国宝)を含む全国著名作家の作品を合わせて約200点展示します。

列品解説 各々午後2時～3時

- 5月18日(土) 金 工 (増山 誠一)
漆 芸 (内島 正雄)
- 19日(日) 木竹工 (荒木 寛二)
陶 芸 (秦 豊秋)
- 25日(土) 染 織 (山下 郁子)
諸工芸 (長岡由美子)
人 形 (河地 住美)
- 26日(日) 金 工 (般若 泰樹)
漆 芸 (今井 宗潤)
- 6月1日(土) 木竹工 (斎藤 肇)
陶 芸 (金田比陶美)
- 2日(日) 染 織 (林 他恵子)
諸工芸 (佐野 猛)
人 形 (平岡 彰子)

会期中同時開催

富山支部会員小品展 地階ミュージアムショップ

審査員

- 佐々木 苑子 重要無形文化財保持者〔染 織〕
(公社)日本工芸会 参 与
- 川北 良造 重要無形文化財保持者〔木竹工〕
(公社)日本工芸会 参 与
- 中野 孝一 重要無形文化財保持者〔漆 芸〕
(公社)日本工芸会 参 与
- 井尾 建二 (公社)日本工芸会 理 事
金工部会長
- 中田 一於 (公社)日本工芸会 理 事
陶芸作家
- 紺谷 力 (公社)日本工芸会 正会員
人形作家
- 村上 隆 高岡市美術館 館 長
順不同 敬称略

開会式

5月17日(金) 午前10時～
エントランスホール

出品者研究会

5月19日(日) 午後3時30分～5時
ビトークホールにて

第51回日本伝統工芸富山展 列品解説風景



一 般 公 募 の 案 内

出品申込 4月23日(火)～25日(木)

伝統工芸の特性を生かし、現代生活に直結する作品で、工芸として格調が高く、美術作品として芸術性を保持し未発表の作品。

<宛 先>

〒933-0813 富山県高岡市下伏間江148 大澤光民方 (公社)日本工芸会富山支部

<お問い合わせ、応募要項請求先>

第52回日本伝統工芸富山展事務局

〒933-0056 富山県高岡市中川1丁目1番30号

高岡市美術館内 0766(20)1177